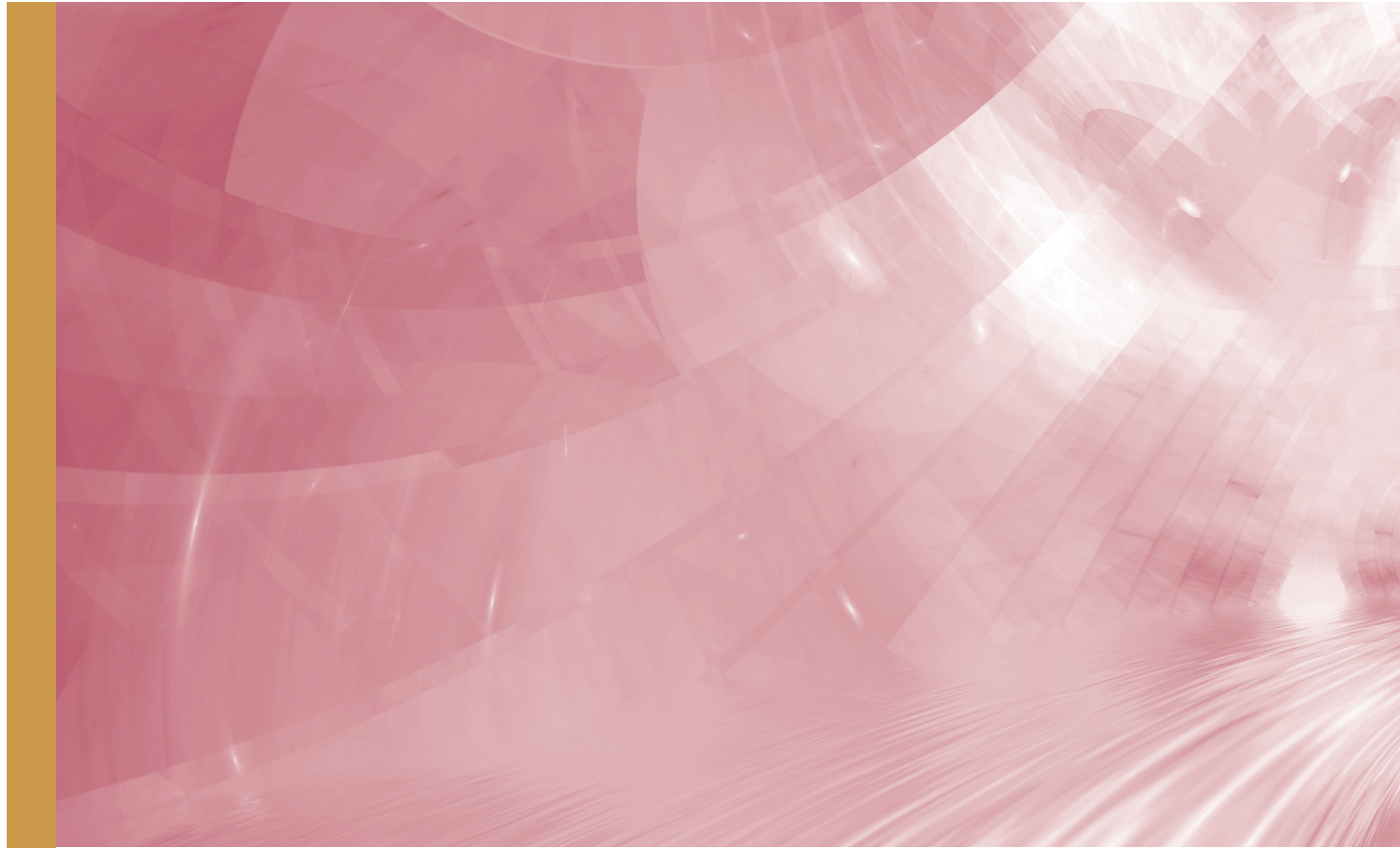


Certified Information Security Manager[®]

ISACA認定



繼續專門教育(CPE)方針

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

目次

概要	2
CISM 認定要件	2
一般的な要件	
年次および3年間の報告期間	
CISM 維持管理手数料の支払および CPE 時間数の報告	
認定要件確認の年次通知	
CISM ロゴの使用条件	
CPE 時間数の監査	3
記録の保存	3
資格の取消	3
再審議と不服の申し立て	3
退職後および一時休職の CISM の地位	3
退職 CISM の地位	
一時休職 CISM の地位	
適格専門教育活動	4
個人としての専門能力の育成	
職業への貢献	
CPE 時間数の計算	5
連絡先	5
職業倫理規則	6
出席証明書	7
追跡記録	8

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

概要

継続専門教育 (CPE: Continuing Professional Education) 方針は、CISM 全員が、現在持っている十分な水準の知識と熟練度を維持することを目標としています。CISM が CISM の CPE 方針を遵守すれば、企業の情報セキュリティを管理、設計、監督、評価する能力が高まります。

CISM 認定委員会は、CPE の要件を規定する責任を負っています。同委員会は、CPE の手続と要件が適切なものとなるように、これらを監督します。

CISM 認定要件

一般的な要件

CISM の CPE 方針では、毎年および 3 年間の認定期間に、一定時間、CPE を受けることが必要とされます。CISM は認定されるために、下記の要件を満たすものとします。

- CPE を毎年少なくとも 20 時間受けて報告する。これらの時間数は、CISM が CISM 関連業務を遂行するために必要な知識や能力を維持、向上させるために適切な時間数です。専門教育が複数の ISACA 資格それぞれの業務関連知識を満たす場合には、複数の資格の CPE 時間数要件に対してこれらの時間を使用できます。
- 毎年 ISACA 国際本部に、CPE の維持管理手数料の全額を支払う。
- 3 年間の報告期間中に、CPE を少なくとも 120 時間受けて報告する。
- 年次監査に選ばれた場合、CPE 活動として必要な文書を提出する。
- ISACA 職業倫理規則を遵守する。

これらの認定要件を遵守しなかった場合には、その個人の CISM 資格を取り消すことになります。

年次および 3 年間の報告期間

年次の報告期間は、毎年 1 月 1 日から始まります。3 年間の認定期間は人によって様々であり、その期間は、年次請求書と認定要件の年次確認書に記載しています。

新規に認定された CISM の方々については、年次および 3 年間の認定期間は、認定された翌年の 1 月 1 日から始まります。認定された年度中は、一定時間、CPE を受けることは必要とされていません。ただし、認定の日からその同じ年の 12 月 31 日までに受けた教育の時間数は、最初の報告期間に受けたものとして報告することができます。

CISM 維持管理手数料の支払および CPE 時間数の報告

毎年、更新期間中に維持管理手数料を支払い、CPE 時間数を報告することが必要です。毎年第 3 四半期に、ISACA からすべての CISM に電子メールとハードコピーの両方の請求書が送られます。資格維持のためには、1 月 15 日までに維持管理手数料の支払いと CPE 時間数の報告を行うものとします。

年次の維持管理手数料の支払いと CPE 時間数の報告は、オンライン (www.isaca.org/renew) または年次更新請求書で情報を提出することによって行えます。

認定要件確認の年次通知

CISM が CPE を必要時間受けた報告をして、維持管理手数料を全額支払うと、ISACA 国際本部から確認書を受け取ります。この確認書には、CPE を受けた時間数が記載されています。すなわち、毎年の報告として承認された時間数、3 年間の認定期間中のうち過去の各年度に報告された時間数、3 年間の全認定期間に必要とされる時間数が記載されています。この確認書にミスや省略があった場合、各 CISM が責任を持って、ISACA 国際本部に直ちに通知するものとします。

CISM ロゴの使用条件

CISM ロゴは、情報システムコントロール協会 (ISACA) がその個人が提供する製品またはサービスを保証することを示唆するため、個人的な使用 (名刺、ウェブサイト、マーケティングや販促資料での使用) は許可されません。ただし、ロゴに代わって「John Q. Customer, CISM」のように名前の後に CISM という略語を付加して使用することは許可されます。

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

CPE 時間数の監査

毎年監査のために、CISM のサンプルを無作為に抽出します。抽出により選ばれた CISM は、「適格専門教育活動」の項に記載されている基準を満たすものとして以前報告した活動について、文書による証拠を提出するものとします。文書は返却されないため、裏付け文書はコピーを送付してください。CISM 認定委員会は、具体的な専門教育活動に関し、承認する時間を決定します。監査の要件を満たさなかった場合は、CISM 資格を取り消されます。

記録の保存

CISM は、報告した CPE 活動を裏付ける文書入手し、それを保管する必要があります。この文書は、3 年間の報告期間の終了時から 12 ヶ月間、保管するものとします。この文書の形式は、書簡、終了証明書、支払領収書、出席簿、出席証明書（本方針に記載）、またはその他の独自の修了証明書とします。各記録には少なくとも、出席者の氏名、後援機関の名称、活動のタイトル、活動の概要、活動日、授与された CPE 時間、または自己申告すべき時間数を記載します。

資格の取消

CISM が CISM の CPE 方針を遵守できなければ、CISM 資格は取り消され、CISM と名乗ることはできません。CISM 資格を取り消された場合、CISM 試験を再受験して合格した上で、CISM 資格の申請書に記入して提出する必要があります。

再審議と不服の申し立て

認定要件を満たさなかったために資格を取り消された CISM は、ISACA 国際本部に書面を通じて、この取消に関しての不服を申し立てることができます。この申立請求は、取消通知から 60 日以内に ISACA 本部に必着すべきものとし、その際、申し立ての詳細な説明も記載して下さい。

退職後および一時休職の CISM の地位

退職 CISM の地位

55 歳を超えて退職した CISM、または永久的な身体障害のために情報セキュリティの専門家としての義務を果たせなくなった CISM には、退職 CISM の地位を申請する権利があります。この地位を与えられた CISM は、CPE を一定時間受ける必要はありませんが、維持管理手数料は毎年支払わなければなりません。

一時休職 CISM の地位

情報セキュリティ専門職を辞した CISM は、一時休職 CISM の地位を申請する権利があります。一時休職 CISM の地位についての申請は、年次の会費請求書を添付した上で、1 月 15 日以前に ISACA 本部に必着するものとします。この地位を与えられた CISM は、CPE を一定時間受ける必要はありませんが、維持管理手数料は毎年支払わなければなりません。専門職に復職した場合には、有効な地位に戻る必要があります。退職 CISM および一時休職 CISM が名刺に「CISM」や「一時休職 CISM」を使用することは、以前は許可されていましたが、今は許可されていません。

退職 CISM または一時休職 CISM の地位の申請をお考えの CISM は、電話 (+1.847.660.5660)、ファックス (+1.847.253.1755)、または電子メール (certification@isaca.org) にて、公認担当部 (certification department) までご連絡ください。

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

適格専門教育活動

CPEとして認められる活動には、技術面の研修と管理面の研修があります。この研修は、バランス良く専門的な育成を行うために、企業の情報セキュリティの管理、設計、評価に直接適用できるか、またはそれらのスキル (www.isaca.org/cismjobpractice) を向上させるものでなければなりません。また、管理スキルに関連する CPE 時間は、情報セキュリティの管理に関連するものでなければなりません。具体的に適格専門教育活動として分類されている場合を除き、実際の仕事で、CPE の時間数を獲得することは認められません。Microsoft Word や Excel などの基本的なオフィス生産性ソフトウェアの研修は、CPE としては認められません。活動によっては、CPE として認められる年間時間数に制限があります。次の項目の適格活動と制限時間数が CISM 認定委員会に認められており、CPE として承認されています。

個人としての専門能力の育成

- **ISACA 専門教育活動と会議 (時間数の制限なし)**: これらの活動には、ISACA コンファレンス、セミナー、ワークショップ、支部プログラム、会議、関連活動があります。実際に参加した時間数に基づき、CISM は CPE の時間数を獲得できます。(「CPE 時間数の計算」のセクションを参照) ISACA 支部会議に出席した場合、実際の会議時間には関係なく、最低限の 1CPE 時間となります。支部プログラムや会議に出席しても、ISACA のデータベースに自動的に登録されることはありません。必ず出席の証明を保管しておいてください。
- **ISACA 以外の専門教育活動と会議 (時間数の制限なし)**: これらの ISACA が後援していない活動としては、社内研修、大学コース、コンファレンス、セミナー、ワークショップ、専門的な会議、関連活動があります。更に、認定試験レビューコースについても、CISM の情報セキュリティまたは管理の知識またはスキルを向上させるようなものである場合、このようなコースに参加すれば、CPE の時間数を獲得できます。実際に参加した時間数に基づき、CISM は CPE の時間数を獲得できます。(「CPE 時間数の計算」のセクションを参照) ただし、大学コースの修了の場合、CPE の時間数は、2 学期制の 1 学期当たりで 15 時間、4 学期制の 1 学期当たりで 10 時間となります。(2 学期制の 1 学期 = 15 週間、4 学期制の 1 学期 = 10 週間)
- **独学コース (時間数の制限なし)**: これらの活動には、独学用に構成されたコースがあり、CPE の時間数を獲得できます。コース提供機関が終了証明書を発行し、その証明書にコースで獲得した CPE 時間数が記載されている場合のみ、これらのコースが認められます。ISACA® *Journal* のテストで合格点をとった場合にも、1 時間の CPE 時間が認められます。CISM の ISACA 会員が ISACA e-symposium のテストで合格点を取った場合には、最高 3 時間の CPE 時間が獲得できます。ISACA® *Journal* テストおよび ISACA e-symposium 活動は、保持している ISACA 資格それぞれに対して複数回カウントできます。
- **ベンダーの販売やマーケティングのプレゼンテーション (制限時間数: 年間 10 時間)**: これらの活動には、企業の情報セキュリティの管理、設計、評価に関連するベンダーの製品やシステムについての具体的な販売プレゼンテーションがあります。

職業への貢献

- **教育、講義、プレゼンテーション (時間数の制限なし)**: これらの活動には、企業の情報セキュリティの管理、設計、評価に関連する専門教育プレゼンテーションの作成と実施、および自習 / 通信教育コースの作成があります。プレゼンテーションとコース (すべての種類) については、初回の実施では、プレゼンテーション時間の 5 倍の CPE 時間 (たとえば、2 時間のプレゼンテーションでは 10CPE 時間) を獲得でき、2 回目の実施では、実際のプレゼンテーション時間の CPE 時間を獲得できます。それ以降の同じ内容のプレゼンテーションについては、内容が大幅に変更される場合を除き、CPE 時間数は獲得できません。自習 / 通信教育コースの場合、受講修了までの予想時間の 2 倍の時間数を限度として、コースのアップグレード / 管理に費やす 1 時間ごとに 1 時間分の CPE 時間数を獲得できます。
- **記事、研究論文、書籍の出版 (時間数の制限なし)**: これらの活動には、情報セキュリティの管理に直接関連する資料の出版やレビュー (印刷物またはオンラインのいずれでも可) があります。正式の出版やウェブサイト上に現れたものであり、要請された場合には、記事のコピーやウェブサイトのアドレスを提供するものとします。書籍と研究論文については、目次と見出しのページも必要です。CPE の時間数として、執筆や検討にかかった実際の時間数を獲得できます。

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

- **試験問題の作成とレビュー (時間数の制限なし):**これは、CISM の試験、または学習教材の作成やレビューに関する活動です。ISACA の CISM 問題レビュー委員会が認めた問題 1 つにつき、2 時間、CPE 時間を獲得できます。これらの時間はすべての ISACA 資格に対して重複してカウントできます。公式に問題をレビューした場合には、実際にかかった時間を獲得できます。
- **関連する専門試験の合格 (時間数の制限なし):**これは、他の専門試験の合格を目指した活動です。合格した場合、試験時間 1 時間につき 1 時間、CPE の時間数を獲得できます。
- **ISACA の理事会や委員会での業務 (制限時間数 : ISACA 資格ごとに年間 10 時間):**これらには、ISACA の理事会、委員会、小委員会、特別委員会への積極的な参加活動、または ISACA 支部の幹部としての積極的な参加活動があります。実際に参加した 1 時間につき 1 時間、CPE の時間数を獲得できます。積極的な参加活動には、支部のウェブサイトの製作、実装および / または管理などが含まれますが、これらに限定されるわけではありません。これらの活動は、保持している ISACA 資格のそれぞれに対して複数回カウントできます。
- **情報セキュリティに関する職業に対する貢献 (制限時間数 : CISM の報告時間に関連する活動すべての合計で年間 10 時間):**これらの活動には、ISACA または他の機関のために行った業務で、情報セキュリティに関する職業に貢献するもの (例 : 研究開発、認定レビューマニュアルの開発、K-Net の開発等) が挙げられます。
- **メンタリング (制限時間数 : 年間 10 時間):**資格保持者は、メンタリングにより年間 10 時間まで CPE 時間を獲得できます。これらの活動には、CISM 試験準備の指導、レビュー、支援、または組織、支部、個人レベルでの資格認定プロセスを通じたキャリア指導に直接関連するメンタリングが含まれます。メンタリング活動は、ISACA 試験の準備または認定によるキャリアの決定について特定の人を支援するものでなければなりません。実際に支援した 1 時間につき 1 時間、CPE の時間数を獲得できます。

CPE 時間数の計算

実際に専門的な教育活動に参加した 50 分間 (昼食時間や休憩時間は除きます) で、1CPE 時間を獲得できます。ただし CPE は 1 時間単位であり、数値の端数は、四捨五入せずに切り捨てます。たとえば、休憩時間が 90 分ある、8 時間 (480 分) のプレゼンテーションに出席した CISM は、7 時間、CPE の時間数を獲得できます。

計算例 :

教育活動スケジュール	実際の時間数	分数
午前 9:00 - 午後 5:00	8.0	480
引き算 : 15 分の休憩時間が 2 回	<.5>	<30>
引き算 : 昼食時間 - 1 時間	<1.0>	<60>
専門教育の時間数の総計	6.5	390

CPE 時間数の計算

$390 \text{ 分} \div 50 \text{ 分} = 7.8 \text{ 時間}$ つまり 7 時間の CPE (端数切り捨て)

連絡先

ISACA Certification Department
ISACA
3701 Algonquin Road, Suite 1010
Suite 1010
Rolling Meadows, Illinois 60008-3124 USA

電話番号 : +1.847.660.5660
ファックス番号 : +1.847.253.1755
電子メール : certification@isaca.org

追加情報

www.isaca.org/cisacpepolicy

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

情報システムコントロール協会職業倫理規則

ISACA[®] は、協会会員や ISACA 資格保有者のために、専門家および個人としての行動のガイドラインとして、この職業倫理規則を規定しています。

ISACA の会員および資格保有者は、下記の事項を行うものとします。

1. 情報システムの適切な基準、手続き、および管理の導入を支援し、これらの遵守に努めること。
2. 独立かつ客観的な立場で義務を果たし、独立性や客観性を損なう活動、または損なうと思われる活動を避けること。
3. 精励、忠実かつ誠実に関係当事者の利益に供し、意図的に違法行為や不適切な活動の当事者とならないこと。
4. 法務当局が情報開示を要請した場合を除き、義務を履行する上で知りえた情報の守秘義務とプライバシーを守ること。このような情報を、個人的な利益のために使用せず、不適切な相手に公表しないこと。
5. 監査や情報システムの管理に関連した分野での能力を維持すること。専門能力を用いることにより成し遂げられることが当然期待できる活動のみを引き受けること。
6. 実施した情報システム監査や管理業務の結果を適切な当事者に通知し、開示しなければ業務報告書の内容が歪められるか、または違法行為を隠すことになる物的事実をすべて明らかにすること。
7. 顧客、同僚、一般大衆、経営者、取締役会に対して、情報システムの監査と管理に対する理解を深めるための専門教育を支援すること。

この職業倫理規則を遵守できない場合、会員や資格保有者を調査し、最終的に懲戒処分を行うことがあります。

公認情報セキュリティマネジャー 継続専門教育(CPE)方針

出席証明書 CISM 継続専門教育 (CPE)

CISM 証明番号: _____

_____ 下記の専門教育活動に出席しました。
(氏名)

タイトル: _____
(プログラムやコースの名称やタイトル)

日付: _____ CPE 獲得時間: _____

後援機関: _____
(後援機関、企業、学校の名称)

説明: _____

場所: _____

* プレゼンター (講師) 名: _____

署名: _____
(プレゼンター (講師) または承認者)

* 自身が専門教育のプレゼンターの場合は、コースの後援機関の署名が必要になります。



3701 Algonquin Road, Suite 1010

Rolling Meadows, IL 60008 USA

電話番号: +1.847.253.1545

ファックス番号: +1.847.253.1443

電子メール: certification@isaca.org

ウェブサイト: www.isaca.org